

福島県の森林・林業再生に向けた

シンポジウムの開催について



「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」会場風景

林野庁では、福島県の協力の下、平成26年12月6日に福島市において「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」を開催しました。

このシンポジウムは、東京電力福島第一原子力発電所の事故発生後、林野庁をはじめ、県や研究機関等による調査・研究で得られた森林内の放射性物質の動態などの知見や成果を、地域住民や林業関係者等に分かりやすく伝え、福島県民の理解と協力の下、福島の森林・林業再生に向けた取組を推進していくために開催したものです。

シンポジウムには県内外より約200名の参加があり、福島大学「うつくしまふくしま未来支援センター」特任准教授の石井秀樹氏より「放射性汚染からの農と地域の再生を」という題目で基調講演をいただいたほか、独立行政法人放射線医学総合研究所の吉田聡氏より「放射能の基礎知識」の解説、独立行政法人森林総合研究所の赤間亮夫氏より「森と木の放射能はどうなっているのか」として報告がありました。また、このほか福島県内で活動

森林内の放射性物質の調査・研究の成果をとりまとめたパンフレット



されている方々から、木製品開発、エリンギ栽培、津波被害海岸林再生整備の取組について事例発表をいただきました。

その中で、赤間氏から森林内の空間線量率は年に1割程度減少していることや、放射性セシウムは経年変化とともに枝や葉の地上部から土壌の表層部に移行していること、森林内の渓流水から放射性セシウムはほとんど検出されず、渓流水を通じて森林内から放射性セシウムが流出することはほとんどないこと、木材の辺材・心材ともに放射性セシウム濃度は低く、福島県内で生産された木材で建築された居室を想定した外部被ばく等の試算結果も健康に影響がないこと等の報告がありました。林野庁では、シンポジウムに先立

ち、森林内の放射性物質の調査・研究の成果をとりまとめたパンフレット「森林・木材と放射性物質」を作成・配布するとともに、森林総合研究所のホームページに「森林と放射能」の情報をとりまとめたポータルサイトを開設（<http://www.ffpri.affrc.go.jp/rad/index.html>）し、林野庁ホームページのトップページにおいても、本情報サイトへリンクしたバナーを設置しました。

放射性物質の影響は長期にわたることから、林野庁では、引き続き、森林内の放射性物質の動態等について調査を行うとともに、得られた知見等については、幅広く情報発信を行い、福島の森林・林業再生に向けた取組を推進してまいります。